

SWS (South West Studies) というのは、学校がある地域 (アメリカ南西部) のことをより深く知ろうという趣旨の校外学習です。

今年度は7つの行き先から選択できたのですが、私は juvenile justice と銘打った受刑者をテーマにしたトリップを選んでみました。ニューメキシコ州アルバカーキに滞在し、午前中は犯罪加害者の家族を支援する団体で活動させていただき、午後は少年院を訪問、ということをや五日間やってきました。

午前中の活動は、3つのグループに分かれて行いました。具体的には、団体のプロモーションビデオの作成、支援を受ける子どもたちのためのワークショップの企画、そして刑期を終えて出所した人々を雇うことができる企業のリスト化です。私はビデオ作製に加わりましたが、小石川での部活動の経験が生かされたように思います。また、最終日の、他のグループの発表も印象的でした。特に企業のリスト化を担当したグループは、集まったデータをグーグルマップ上にマッピングするところまで行って、そのアイディアと、指示された内容にとどまらずより良いものを作ろうとした姿勢はぜひ見習いたいと思いました。全体を通して、ごく短い期間で何かを完成させるということを学べたように思います。

午後の少年院での活動は、私が持っていた固定観念を大きく変えてくれました。企画されたワークショップだけでなく、自由時間はただ会話をしたりしてのんびりと過ごしたことが、逆にいい経験になりました。施設の性質上ほぼ何も持ち込めなかったためあまり記録ができなかったのは残念でしたが、そのぶん貴重な体験ができたと思います。

グランドキャニオンに行くなどの選択肢もあった中、比較的硬いテーマのトリップでしたが、選んで良かったです。

そして、SWS が終わると授業の進度が急に速くなる、と何度も聞かされていたのですが、本当にそうでした。一学期は11月14日までだったため、9日から14日にかけて期末考査があり、それに向けて授業もぐんと深いものになっていきました。面白かったのは、考査期間中も授業や課外活動が通常通り続くことです。土日を挟んで四日間、私は美術を取っていることなどもあり試験が少なく、それほど大変でもありませんでしたが、人によっては非常に厳しい期間だったようです。

SWS 以降、授業が忙しかったぶん行事は少なかったのですが、科目ごとの校外学習は度々ありました。私は美術の校外学習で2回 Santa Fe という近くの町に行ったのですが、ここがとても綺麗なところでした。古い日干しレンガの建築 (あまりうまく撮れていませんが写真を添付します) が特徴的な小さな町です。その大きさに反してとても多くの美術館やギャラリーがあるようで、2回足を運んでもまだまだ訪れていないギャラリーがあります。卒業するまでに全て制覇してみたいです。

また、冬休みが始まる直前にはウィンターコンサートが校内で開かれました。何人かのソロ演奏に加え、アフリカンコーラス、ラテンアンサンブル、シルクロードアンサンブルなどの発表もありました。全体的に国際色豊かで、この学校らしさを感じさせる行事でした。



雪も降りました！降雪があったのは二回と決して多くはありませんが、気温が低いため日陰になる部分に積もった雪は何週間も残ったままです。氷点下とまでは言わずともかなり冷え込んでいますが、生徒は基本的に寮と学校との行き来でしか外に出ないため、皆以外と薄着で出歩いています。

このような感じで約 4 ヶ月が過ぎ、今は冬休み中です。私は特に旅行などをする予定もなく、のんびりしています。